



～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～



## 交通安全総決起大会を実施

～ 秋の全国交通安全運動 ～

(平成26年9月25日 刈谷駅南口みなくる広場)



## 平成25年度決算を認定

一般会計・特別会計総額で

前年度比約49億円の歳入増

主な記事	ページ
25年度決算	2～3
議決した議案	3～5
委員会の動き	5
一般質問	6～8

## 9月定例会のあらまし

この定例会は9月3日に招集され、会期23日間で、9月25日に閉会しました。今回は議案など35件と請願1件が提出されました。

◆9日～12日 委員会審査  
主な議案は平成25年度決算の認定と刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についてなどです。

◆9月3日～5日 本会議  
(議案説明、一般質問)  
市長から説明を受けた後、一般質問に入りしました。一般質問は3日間で15名の議員により37項目について行われました。

◆5日 本会議  
(議案審議、委員会付託)  
各議案について説明を受けた後、関係する委員会で審査をすることになりました。

◆25日 本会議(採決)  
各委員長より委員会での審査の経過と結果が報告されました。市長提出議案の一部について、反対意見がありました。いずれも原案のとおり可決されました。

◆24日 議会運営委員会  
最終日の運営を協議し、議案の採決方法などを確認しました。

◆25日 本会議(採決)  
各委員長より委員会での審査の経過と結果が報告されました。市長提出議案の一部について、反対意見がありました。いずれも原案のとおり可決されました。

◆5日 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会  
決算議案、補正予算議案の審査のため分科会を設置して審査することになりました。

◆5日 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会  
次に、平成25年度決算関係9議案と平成26年度補正予算3議案について、説明を受けた後、それぞれ特別委員会を設置して審査することになりました。

◆9月定例会を通じての傍聴者は延べ94人でした。

### ★傍聴をお待ちしています★

\*12月定例会の開催予定\*

- 11月 21日 (金) 議会運営委員会 (運営を協議)
- 12月 3日 (水) 本会議 (開会、一般質問など)
- 4日 (木) 本会議 (一般質問)
- 5日 (金) 本会議 (一般質問、議案説明)  
予算審査特別委員会
- 9日 (火) 企画総務委員会
- 10日 (水) 福祉経済委員会
- 11日 (木) 建設水道委員会
- 12日 (金) 文教委員会
- 18日 (木) 予算審査特別委員会  
議会運営委員会 (運営を協議)
- 19日 (金) 本会議 (委員長報告・採決など)

各会議は10時から17時までを予定しています。なお、会議の進行状況などによって、会議時間が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。傍聴を希望される場合は、当日各受付までお越しください。

- 本会議：市役所10階、傍聴受付  
委員会：市役所9階、議会事務局受付
- 託児を希望される方へ (生後6ヶ月以上の未就学児、先着順)  
傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用できます。  
傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。
- 手話通訳を希望される方へ  
傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。  
傍聴希望日の1週間前までに福祉総務課  
(Tel. 62-1208 Fax 24-3481) までご相談ください。
- 一般質問KATCH放映 (106ch)  
12月9日、15日、17日です。いずれも18時から。  
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。





# 主な議案 9月 定例会

今回は、平成25年度決算の認定と刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

## 平成25年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を56億円上回る

### 決算審査特別委員会 審査のあらまし

本会議での説明後、議員選出の監査委員（伊藤幸弘議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。分科会では監査委員出席のもと、審査が行われました。

24日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

討論では、西三河地方税滞納整理機構が徴収業務を行っていること、国民健康保険料が値上げされたこと、学校給食の提供は自校自園方式であるべきと考えることなどの理由から反対であるとの意見がありました。



代表監査委員による意見陳述

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。

### 企画総務分科会

公用車の保有台数と更新の基準、市税の滞納繰越分の収納率向上の要因、防災備蓄品の更新と充実、防犯カメラの設置による犯罪抑止効果と有効性

### 福祉経済分科会

緊急通報システムなどの高齢者支援事業拡充の考え、中小企業の経営状況の把握、幼稚園給食でのアレルギー食への対応とその内容

### 建設水道分科会

道路総点検の結果と修繕計画、耐震化計画に基づく橋りょう補強事業の内容及びスケジュール

### 文教分科会

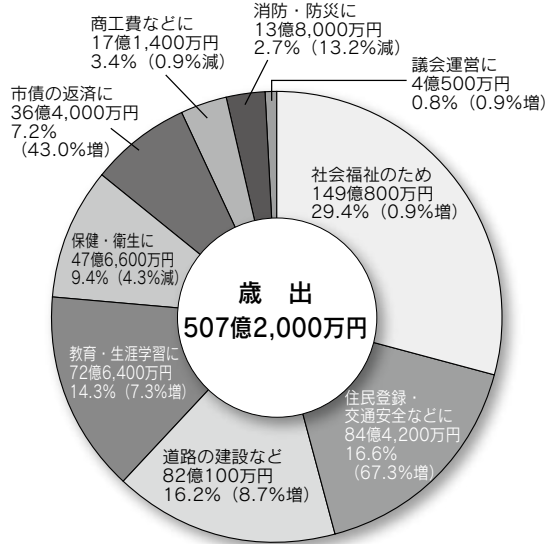
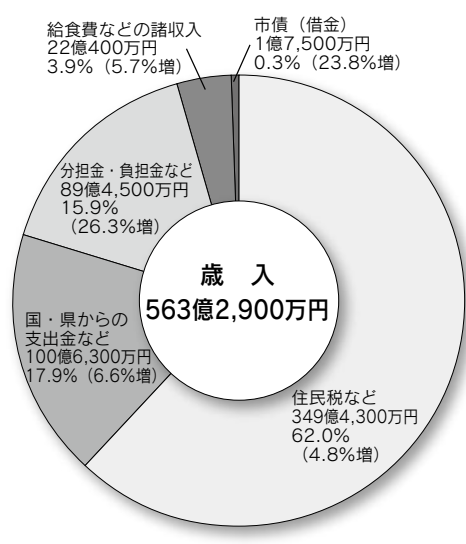
集会所の安全確保と重要性、中高生の居場所づくり事業の現状とボランティア登録者数、子ども相談事業での相談内容と課題、小堤西池のカキツバタ群落の保護及び管理、美術館が購入した美術品の市民への公開、スポーツリーダー養成講座事業の内容

## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	563億2,900万円 (+ 8.1%)	507億2,000万円 (+ 11.8%)	56億900万円
特別会計 合計額	258億6,600万円 (+ 2.8%)	234億3,000万円 (+ 2.8%)	24億3,600万円
水道事業 会計	26億700万円 (+ 0.7%)	24億9,200万円 (+ 3.6%)	1億1,500万円
各会計の 合計額	848億200万円 (+ 6.2%)	766億4,200万円 (+ 8.6%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	5億5,400万円	4億9,000万円
下水道事業	52億4,000万円	43億8,000万円
国民健康保険	125億3,900万円	111億3,000万円
後期高齢者医療	13億500万円	13億300万円
介護保険	62億2,900万円	61億2,700万円

## 一般会計の内訳 (前決算年度対比)



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

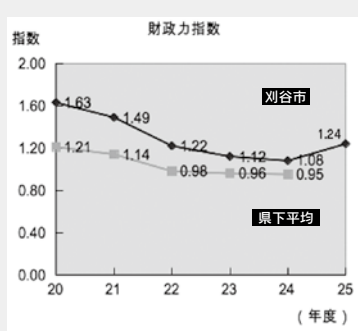
〈商工費などの内訳〉 商工費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費  
(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

## 監査委員の意見 (要旨)

### Ⅱ 一般会計・特別会計

平成25年度の決算状況は財政分析指標面からも良好なものと判断された。今後の財政状況は、歳入において、自動車関連産業の好況に支えられ市税収入は回復傾向が見られるが、一方で、国による法人市民税の一部国税化、平成27年10月に予定されている消費税率の引上げによる消費及び景気への影響、さらには現在検討が進められている法人実効税率の引下げなど、今後の歳入の見込みを楽観視することはできない。このように歳入の見込みがなお不透明な中、歳出においては、社会保障関連経費、老朽化が進む公共施設の維持・保全にかかる経費、南海トラフ巨大地震の被害想定に対応する減災・防災への取り組みなど市民の安全・安心に関わる先送りのできない事業が増加することが見込まれる。事業の予算化・実施にあたっては事業の必要性を十分に検討した上で、計画的な事業遂行に努め、今後も健全財政を維持していただきたい。

平成25年は刈谷城が築城されて480年、「維新の魁」といわれた天誅組の義挙から150年となる年として、市民の方々に郷土への愛着を育み、絆を深めていただく施策を展開してきた。こうした施策をステップアップさせ、「歴史と未来が輝くまち かりや」をキャッチフレーズに、住み続けたいまち、住んでみたいまちとして、本市の未来が真に輝くことを期待するものである。



※財政力指数…自治体の財政の強弱を測る方法 "1" を超えるほど財政が健全である

財政状況を財政分析指標でみると、財政力指数は0.16ポイント上昇し、1.24、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は2.9ポイント減少し、74.8%、公債費比率は0.7ポイント低下し、2.3%と全てにおいて状況は好転しており、その数値は良好な水準にある。

### Ⅲ 水道会計

平成25年度の純利益は8,861万8千円であり、これまでの企業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は13億6,914万9千円となった。しかし、事業開始から50年余を経過し、徐々に施設の老朽化が進行しており、給水施設等の再整備に向けた検討が必要な時期に差し掛かっている。また、南海トラフ巨大地震の発生が想定される中においては、ライフラインを確保するために基幹管路の耐震化等の更なる推進が強く望まれるところであり、これらを着実に実現していくための財政見込みを構築されたい。

貸借対照表から主要な経営指標をみると、構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は91.1%で引き続き良好な水準にある。また、短期債務に対する支払い能力を示す流動比率は、73.2ポイント増の726.2%であり、固定資産が自己資本によりどの程度まかなわれているかをみる固定比率は、1.2ポイント減の87.6%と、望ましいとされる100%以下である。この3つの指標は、良好に推移しており、健全経営が確保されていることを示している。

常に効率的な企業経営に努め、刈谷市水道ビジョンに掲げる基本理念に基づき、安心で安全なおいしい水が将来にわたり供給されることを期待する。

伊藤 嘉徳  
中嶋 祥元



# 平成25年度に取り組んだ主な事業

## 都市環境分野・・・ 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆防犯灯を、寿命の長いLEDへ取替えることにより、電気料と修繕料を削減
- ◆名鉄富士松駅下りホーム側に駅舎改札口を新設し、利用者の利便性の向上と安全性を確保



名鉄富士松駅に新設された南口駅舎

- ◆岩ヶ池公園（刈谷ハイウェイオアシス）に太陽光発電設備と普通充電ステーションを設置し、災害復旧時の輸送拠点としての機能を強化
- ◆市民会館跡地に災害復旧活動の拠点となるセントラルパーク（大手公園）を整備し、災害対策機能の強化と市街地の緑を創出



セントラルパーク（防災時使用イメージ）

## 計画推進分野・・・ 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ◆第7次総合計画の進捗管理を行うため、各施策に対し、外部評価を実施
- ◆施設評価や大規模修繕の基本的な考えを定め、公共施設の適切な維持保全を推進

## 教育文化分野・・・ 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆子ども相談センターを開設し、親や子どもなどの電話相談、来所相談を実施
- ◆ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場第3種公認の更新のため、備品及び施設の整備を実施
- ◆中央児童館を「科学体験館」として、リニューアルするため、プラネタリウム更新工事などに着手



来年の春に科学体験館としてリニューアルする中央児童館

## 産業振興分野・・・ 人と技術で賑わいを創り笑顔で動き続けられるまちづくり

- ◆技能五輪プレイベントである全国産業教育フェアを実施するとともに全国から集まった高校生や青年技術者に「ものづくりのまち刈谷」を発信
- ◆刈谷駅北口に観光案内所を設置し、ビジネス客などに市の土産品販売や観光情報を提供



刈谷駅の北口に設置された観光案内所

## 福祉安全分野・・・ 支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆肺炎球菌等予防接種費用を助成し、高齢者の発病予防や病気の重症化を防止
- ◆交通量の多い通学路の危険区間にグリーン舗装を施工し、児童生徒の安全を確保
- ◆防災備蓄倉庫の設置・更新及びソーラーパネルの設置



ソーラーパネル付き防災備蓄倉庫

## 刈谷城築城 480 年・・・ 戦国ロマンに想いをはせ未来へ夢を紡ぐ

- ◆刈谷城築城 480 年及び天誅組義挙 150 年を契機として、市民の歴史に対する関心を深めるとともに、文化都市「刈谷」を発信



チビッコ甲冑行列の様子

### 議決結果一覧表

・工事請負契約の額を変更する専決処分について	了承
・公平委員会委員の選任について	同意
・固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
・人権擁護委員の候補者の推薦について	異議ない旨答申
・教育委員会委員の選任について	同意
・【福祉経済委員会関係・8議案】	すべて可決
・刈谷市社会福祉事務所設置条例の一部改正について	
・刈谷市母子家庭等医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市中心身障害者医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市精神障害者医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
・指定管理者の指定について（刈谷市立おがきえ保育園）	
・刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
・刈谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
・【建設水道委員会関係・2議案】	すべて可決
・刈谷市公共駐車場条例の一部改正について	
・刈谷市下水道条例の一部改正について	
・【文教委員会関係・1議案】	可決
・指定管理者の指定について（刈谷市総合文化センター）	
・【平成25年度決算関係・9議案】	すべて認定及び可決
・一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号）	
・刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号）	
・刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号）	
・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第4号）	
・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第5号）	
・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（認定第6号）	
・介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号）	
・水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
・水道事業会計決算認定について（認定第8号）	
・【平成26年度補正予算関係・3議案】	すべて可決
・一般会計補正予算（第2号）	
・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
・介護保険特別会計補正予算（第1号）	
・【請願1件】	不採択
・すべての子どもたちがゆたかに育つよう制度の拡充を求める請願	
・【議長発議1件】	決定
・議員の派遣について	
・【議員提出議案6件】	否決
・刈谷市亀城公園等整備基金条例の廃止について	
・軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書	
・「手話言語法」制定を求める意見書	
・国の私学助成の拡充に関する意見書	
・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書	
・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	



# 議案審議

## 単行議案

### ■指定管理者の指定について

刈谷市立おがきえ保育園の指定管理者を指定します。

指定管理者

株式会社トットメイト

清須市西枇杷島町子新田1番地の4

指定の期間

平成27年4月1日から平成37年3月31日まで

〔問〕引き続きの指定となるが、過去10年間に得たメリットはあったのか。

〔答〕延長保育、日曜日や祝日の休日保育、一時保育の充実のほか、公立保育園にとつては、民間の保育や運営に対する考えを聞くことで刺激を受けることができたと考えている。

## 条例議案

### ■指定管理者の指定について

刈谷市総合文化センターの指定管理者を指定します。

指定管理者

KCSN共同事業体

東京都渋谷区代々木5丁目40番13号

指定の期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

〔問〕指定管理者にどのような管理を求めるのか。

〔答〕民間事業者のノウハウを活用した、効果的かつ効率的な管理運営によるコストの低減を図りながら、市民が気軽に参加できるような講座、教室を開催することで、利用者の満足度が向上するような管理を求める。

### ■刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

〔問〕条例の概要はどのようなものか。

〔答〕来年4月からスタートする子ども・子育て支援新制度の中で、待機児童の解消を図り、受け入れ施設を少しでも多く確保することを目的として、県が認可している幼稚園や保育園に加え、家庭的保育や小規模保育などを市が新たに認可することとなったため、条例を制定するものである。

〔問〕保育士配置基準などについて、市の独自基準を設けた考え方はどのようなものか。

〔答〕市として質の高い保育を維持し、安心・安全な子育て施策を行っていくという考えのもと、家庭的保育者を保育士に限定したり、保育を行う市の認可保育所に準じ、国よりも厳しい基準を設けた。

要でないとの考えに立ち、提案している。

〔問〕公園整備の構想はどのようなものか。

〔答〕平成27年度に基本設計、28年度は実施設計を行い、工事の着手は現段階では平成29年度になる予定で、平成32年度の市制70周年に向け事業を推進していく。

〔問〕刈谷城の復元とは、どこまでの範囲か。

〔答〕刈谷球場北側にある、小高くなっている一帯の南側に歴史的建造物である隅櫓や多門櫓(たもんやぐら)、石垣などの一部の建造物を整備するものである。

### 〔反対意見〕

刈谷市亀城公園等整備基金条例は、平成22年3月議会での議会の議決により制定されたもので、基金の中には市民からの寄附金も含まれている。基金を廃止し、一般会計で事業を実施しようとする単年度ごとに多額の資金が必要になり、一般財源を圧迫すると考えられることから反対であるとの意見がありました。

### ◆議会豆知識◆

議員の議案提出・・・地方自治法一二条に規定されており、議員の12分の1以上の賛成が必要で、本市では、3人以上となります。



亀城公園等再整備のイメージ



刈谷市立おがきえ保育園

事業所内保育事業の保育士数（保育所型 定員20名以上）

国の基準	刈谷市の基準
乳児 おおむね3人につき1人	乳児 3人につき1人
満1歳以上満3歳に満たない幼児 おおむね6人につき1人	満1歳以上満2歳に満たない幼児 5人につき1人 満2歳以上満3歳に満たない幼児 6人につき1人
満3歳以上満4歳に満たない児童 おおむね20人につき1人	満3歳以上満4歳に満たない児童 15人につき1人
満4歳以上の児童 おおむね30人につき1人	満4歳以上の児童 30人につき1人

### ■刈谷市亀城公園等整備基金条例の廃止について（議員提出議案）

〔問〕今回の条例廃止の議案は、刈谷城の隅櫓(すみやぐら)などの復元を含んだ公園整備に反対であることから提案したのか。それとも復元には賛成だが、基金を活用することに反対であることから提案したのか。

〔答〕刈谷城を復元するかどうかは別と考慮しており、公園整備は一般財源で十分に賄える」と判断していること、また、基金による財政の硬直化やペイオフの危険から、基金は必

## 9月定例会提出議案の賛否について

9月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

議案名及び議決結果	可決	自民クラブ						市民クラブ						公明クラブ		日本共産党議員団		清風クラブ		志誠会		新自民クラブ	議長	副議長					
		加藤 峯昭	山崎 高晴	岡本 優	加藤 賢次	清水 行男	渡辺 周二	鈴木 絹男	中嶋 祥元	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	鈴木 浩二	山内 智彦	沖野 温志	松永 寿	白土美恵子	櫻谷 勝	新村 健治	野村 武文	山本シモ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	神谷 昌宏	蜂須賀信明	成田 正和	佐野 泰基	前田 秀文
指定管理者の指定について(刈谷市立おがきえ保育園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市公共駐車場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市亀城公園等整備基金条例の廃止について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
決算関係4議案※1 認定第1号、第5号、第6号、第7号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 議案名については3ページ「議決結果一覧表」を参照ください ※2 伊藤幸弘議員は監査委員のため、決算議案の採決には加わりません



### 補正予算議案

補正予算議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

9月24日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、25日の本会議において原案のとおり可決しました。

補正する額（一般会計）  
22億4,597万1千円  
補正後の予算総額（一般会計）  
539億9,231万3千円  
補正後の予算総額（全会計）  
829億1,730万7千円  
主な事業

（環境）  
低公害車の普及啓発に寄与するため、年末に発売予定の水素を燃料とするFCV（燃料電池自動車）を購入します。  
869万円



購入予定のFCV

（幼稚園）  
幼児の保育環境を整備するため、来年の夏までに全幼稚園に空調設備を設置します。  
3億5,200万円

（児童福祉）  
科学体験館としてリニューアルする中央児童館に電子顕微鏡を導入します。  
1,220万円

〔問〕導入予定の電子顕微鏡は、どのような機能があるのか。

〔答〕小中学校で使用している一般的な光学式顕微鏡は、倍率200〜300倍であるのに対し、10倍〜6万倍に拡大できるものを想定している。

〔問〕電子顕微鏡をどのように活用するのか。

〔答〕科学体験講座の中で、市民に利用していただくほか、学校で使用する教材、教員の間で作成や、理科研究に活用してもらいたいと考えている。

（道路維持）

道路舗装の劣化状況を点検し、補修等を実施します。  
1億1,971万円



道路舗装のひび割れの様子

（公園）  
総合運動公園にパーゴラやベンチを設置するほか、複数の公園に防球ネットやフェンスなどを設置します。  
2,000万円

※市民の方から貴重なご意見をいただきました。補正予算に計上し、活用させていただきます。

・保育園事業費寄附金として 50万円  
・児童館事業費寄附金として 1,000万円  
・公園事業費寄附金として 104万5千円

- ・図書館事業費寄附金として 5万円
- ・学校管理事業費寄附金として 200万円
- ・幼稚園事業費寄附金として 10万円

### 請願・陳情の結果

今回市民の皆さんから提出された請願1件と陳情5件は、関係する委員会審査された結果、

請願は不採択、陳情は4件が採択、1件が不採択となりました。採択された陳情に伴う意見書と軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な防災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書は本会議最終日に全会一致で可決され、関係機関に送付されました。

（意見書の全文は議会ホームページをご覧ください）

【請願】  
▼すべての子どもたちがゆたかに育つよう制度の拡充を求める請願 不採択

【陳情】  
▼手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情 採択

▼国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情 採択

▼愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情 採択

▼私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情 不採択

▼定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情 採択

### 委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

#### 企画総務委員会

##### ◆所管事務調査

「学校ESDプロジェクトについて」「ゾーン30について」「消防団支援について」「避難所について」「ペイオフと資金運用について」など

#### 福祉経済委員会

##### ◆所管事務調査

「野田町新田地区における工業用地の確保について」「臨時福祉給付金について」「ごみ処理施設の考え方について」「病児・病後児保育について」「子ども子育て会議について」など

#### 建設水道委員会

##### ◆所管事務調査

「都市計画道路刈谷駅前線における交通社会実験について」「西三河都市計画公園の変更について」「刈谷駅北地区市街地再開発について」「上水道施設の耐震化について」「吹戸川流域浸水対策事業の状況について」など

#### 文教委員会

##### ◆所管事務調査

「教員の長時間労働について」「刈谷国際音楽コンクールについて」「公民館事業について」「歴史博物館について」など

### 【行政視察】

優れた事業を行う自治体を視察し、魅力ある刈谷市づくりに生かします。

- ◆企画総務委員会（10月15日～17日）  
千葉県千葉市「消防団支援の取組みについて」  
埼玉県春日部市「シティセールスについて」  
千葉県野田市「空き家対策について」
- ◆福祉経済委員会（10月22日～24日）  
千葉県柏市「地域包括ケアシステム構築へ向けた取組みについて」  
東京都東村山市「むさしの認定こども園について」  
東京都多摩市「島田療育センターについて」
- ◆建設水道委員会（10月22日～24日）  
東京都江戸川区「新しい街路樹デザインについて」  
群馬県前橋市「中心市街地活性化等によるまちづくりについて」  
静岡県浜松市「スマートインターチェンジについて」
- ◆文教委員会（10月15日～17日）  
岩手県盛岡市「遺跡の学び館について」  
秋田県秋田市「学力向上の取組みについて」  
宮城県仙台市「新たな学校防災教育について」



次回発行の2月1日号に  
視察報告を掲載します

#### ■公平委員会委員の選任（選任に同意）

都築 眞理子 氏（3期目） 一里山町  
任期：平成26年10月1日～平成30年9月30日（4年間）  
※公平委員会とは、地方公共団体職員の仕事の保護と公正な人事権の行使を保障するために置かれる機関です。

#### ■固定資産評価審査委員会委員の選任（選任に同意）

塚本 裕三 氏（2期目） 今川町  
任期：平成26年10月1日～平成29年9月30日（3年間）  
※固定資産評価審査委員会とは、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服申し立てについて、審査決定をする機関です。

#### ■人権擁護委員の候補者の推薦（異議ない旨答申）

塚崎 友子 氏（4期目） 泉田町  
深谷 隆子 氏（1期目） 野田町  
早川 輝 氏（1期目） 井ヶ谷町  
任期：平成27年1月1日～平成29年12月31日（3年間）  
※人権擁護委員とは、国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されています。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

#### ■教育委員会委員の選任（選任に同意）

神谷 修 氏（3期目） 今川町  
任期：平成26年10月1日～平成30年9月30日（4年間）  
※教育委員会とは、学校の設置及び管理に関することや、教員の人事についてなど、教育行政を処理するために置かれる機関です。



# 一般質問

## 市政のついでを問う

この定例会では、9月3日から5日までの3日間で、15人が登壇し、37項目にわたり、市政全般についてたまたす一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順） ※印が掲載した項目です。

- 鈴木 絹男 議員 ※1 インフラの維持管理について
- 新海 真規 議員 ※2 防災対策について
- 神谷 昌宏 議員 ※3 城町図書館について
- 鈴木 浩二 議員 ※1 集合住宅における下水道使用料の誤徴収について
- 蜂須賀 信明 議員 ※2 成年後見センターの設置について
- 山本 三三子 議員 ※3 防犯カメラの増設、LED化について
- 野村 武文 議員 ※1 防犯カメラの増設について
- 清水 行男 議員 ※2 列谷市の今後の人口動向とその影響について
- 黒川 智明 議員 ※1 交通安全対策について
- 新井 健治 議員 ※2 列谷市の健康増進対策について
- 白土 美恵子 議員 ※3 列谷市における認知症の予防対策について
- 松永 壽 議員 ※1 青山斎園の現状について
- 上田 昌哉 議員 ※2 洲原温水プール事故による被害者への補償問題について
- 山崎 高晴 議員 ※3 都市計画決定した元列谷重原線の進捗状況について
- 星野 雅春 議員 ※1 安心して受けられる介護制度の充実について
- 山崎 高晴 議員 ※2 地方税滞納整理機構への滞納者移管について
- 山崎 高晴 議員 ※3 列谷市民税の引き上げについて
- 山崎 高晴 議員 ※1 市民の命を守る諸対策について
- 山崎 高晴 議員 ※2 自立できる都市構造の確立について
- 山崎 高晴 議員 ※3 地域防災の充実について
- 山崎 高晴 議員 ※1 豪雨など災害時の初動体制整備について
- 山崎 高晴 議員 ※2 就学援助制度の改善について
- 山崎 高晴 議員 ※3 岩ヶ池公園の整備について
- 山崎 高晴 議員 ※1 美恵子 議員
- 山崎 高晴 議員 ※2 市民生活の安心・安全施策について
- 山崎 高晴 議員 ※3 市民サービスの充実について
- 山崎 高晴 議員 ※1 財源確保の取り組みについて
- 山崎 高晴 議員 ※2 子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について
- 山崎 高晴 議員 ※3 視覚障がい者、聴覚障がい者の防災・減災について
- 山崎 高晴 議員 ※1 空き家対策について
- 山崎 高晴 議員 ※2 元気な地域応援交付金について
- 山崎 高晴 議員 ※3 少子高齢化時代における行政の役割について
- 山崎 高晴 議員 ※1 小学校、中学校の先生と生徒の心のケアについて
- 山崎 高晴 議員 ※2 防犯対策について
- 山崎 高晴 議員 ※3 消防団の拡充について
- 山崎 高晴 議員 ※1 青年教育について
- 山崎 高晴 議員 ※2 土地施策について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

### 鈴木 絹男 議員

#### 市民生活の安心安全を左右するインフラ総合計画の策定を

—基金の活用も検討し総合管理計画として策定する—

**問** 将来の市民生活の安心安全を左右する大きな課題としてインフラ全体を総括的に捉えた維持保全計画を策定し、計画的な整備を図ることで、時代に即したまちづくりを行っていく必要があると思うが、どのように考えているか。

**答** 建物や橋梁、公園などの個別計画の上位計画となる公共施設等総合管理計画を平成28年度までには策定したいと考え、現在その準備を進めている。

**問** 公共施設維持保全計画では、建物だけでなく多額の経費を

### 新海 真規 議員

#### 誰もが利用しやすい城町図書館とするためのバリアフリー化を

—耐久性調査と今後の保全計画の方向を見据えて研究する—

**問** 中央図書館、城町図書館、富士松図書館の過去3年間の利用者数の推移は、どのようになっているか。

**答** 23年度が52万4千人、24年度が51万1千人、25年度が50万1千人である。

**問** 入館者が減少傾向にある理由はどのようなものか。

**答** インターネットによる本

(主な答弁者：企画財政部長)

必要とするため、さらに橋梁や排水機場なども含めた総合管理計画を策定し、市民生活に必要なインフラ資産の適切な維持を図るためには、財政面での困難が予想されるが、財源の確保については、どのように対応することを考えているか。

**答** 景気に左右されることなく、福祉や教育、子育て支援など、他事業に影響を与えないよう計画を進めていくために、現在運用している公共施設維持保全基金の活用も含め、財政面での課題について検討していく。

(主な答弁者：生涯学習部長)

**問** 城町図書館は、外部から図書館であることがわかりづらいため、建物の上部に看板等の表示が必要だと思うがどのように考えるか。

**答** 今後、歴史博物館の建設や、隅橋、石垣の復元にあわせて、総合的に案内表示や施設表示を検討したい。

**問** エレベーター設置の要望が多いが、どのように考えるか。

**答** 今年度に城町図書館の耐久性調査を実施する。その結果により、施設の長寿命化の必要性の有無の検討を行い、保全計画の方向性が示された後に、エレベーター設置の研究を行う。

### 神谷 昌宏 議員

#### 防犯灯のLED化を加速するためにリースの検討を

—地元業者の参入を考慮したリース等の導入を検討したい—



城町図書館の外観

**問** 防犯灯の総数はいくつあるのか。また、総数の内LED

タイプの数はいくつか。

**答** 平成26年7月末現在の防犯灯の総数は7,897基で、その内LEDタイプのものは約6分の1の1,239基である。

**問** 防犯の視点とエコの視点から、LED灯の交換を加速すべきだと思うが、多くの数を短期間で交換することに対し、業者の工事能力に問題はないか。

**答** 業者の工事能力には問題はないと考えているが、検討する課題は幾つかあり、初期投資が高額になることなどが大きな

### 鈴木 浩二 議員

#### 交通事故低減に向けた事故多発場所への対策の仕組みづくりを

—企業や警察と連携を図りながら必要な対策を講じていく—

**問** 刈谷市の昨年度の交通事故の発生状況は。

**答** 人身事故件数は990件、死傷者数は1,177人で昨年より28件、98人減少している。交通事故が発生する場所は、交差点及び交差点付近で発生した事故が全体の57.2%、交差点以外は42.8%である。

**問** 交差点などの危険性の高い場所を優先に対策すべきだと思うが、事故多発箇所に対する考えが、事故多発箇所に対する、現在の取り組みや対策が完了した内容は。

**答** 企業の業務車両に搭載されたドライブレコーダーのデータから急ブレーキを踏んだ地点と警察で保有している人身事故

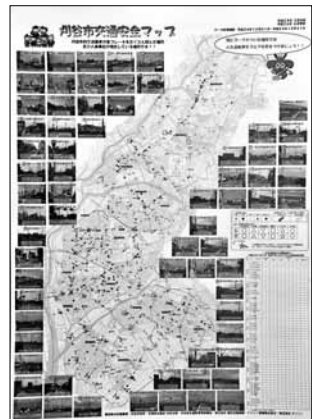
課題である。

**問** 初期投資が高額になること以外の検討課題はなにか。

**答** 近年設置したばかりでまだ新しい蛍光灯タイプの防犯灯があるため、一括交換した場合、業者の下取りやリースの可否についての検討が必要である。

**問** 初期投資をおさえるためにリースを検討してはどうか。

**答** 地域経済活性化のために、地元業者の参入を考慮したリース等の形態による導入を検討していきたい。



ドライブレコーダーの活用した交通安全マップ

(主な答弁者：市民活動部長)

#### 認知症高齢者・家族介護者のための支援の強化を

—訪問・相談を含めた初期の支援体制の充実を図る—

**問** 認知症の方を介護する家族の負担軽減のため、新たな相談窓口を設置するなど支援体制を充実していく考えはあるか。

**答** 認知症の早期診断・早期

(主な答弁者：長寿保険部長)

対応に向けて、認知症高齢者とその家族を訪問し、相談を含めた初期支援を行う機関として、認知症初期集中支援チームを第6期介護保険事業計画の実施期







白土 美恵子 議員  
保有資産を活用し、新たな財源確保の積極的な取組みを

―今後も引続き、自主財源の確保に努めていく―

問 地方自治体の厳しい財政状況が続き、歳出の削減だけでなく、保有資産を最大限に活用して歳入を増やす必要がある。財源確保のため、本市では現在どのような取組みをしているか。

答 太陽光発電設備を設置するために小学校の屋根を貸出し



ラッピングされた公共施設連絡バス

問 新たな財源確保は、市民サービスの向上や地域経済の活性化にもつながるため、今後も積極的な取組みが必要であると考えるが、雑誌スポンサー制度を導入する考えはあるか。

答 図書館での導入を目標に掲げており、年度内にスポンサー募集、来年度からの実施を目標に準備を進めている。今後も引き続き自主財源の確保に努める。

松永 寿 議員  
災害時における視覚・聴覚障害者への支援を

―地域と連携した共助による支援体制づくりを進める―

問 災害情報はどのような方法で市民へ伝達されるのか。

答 キャッチャーやホームページ、防災ラジオ、同報無線の屋外拡声器、携帯電話へのメール配信及び広報車等により広報を行う。電話が使用できない場合は、各避難所、自主防災会長や消防団などに移動系の防災無線で行う。

問 視覚・聴覚障害者の避難所での受け入れ態勢は。

答 まずは最寄りの避難所へ避難してもらった後、一般の避難所での共同生活が困難な方には、福祉避難所へ移っていたり

問 視覚・聴覚障害者の避難

自主防災会による避難者受入訓練の様子



自主防災会による避難者受入訓練の様子

を行うことは非常に困難であると考えられるので、平常時から自主防災会や民生委員等と連携し、要援護者の状況の把握、情報の共有、避難支援計画の作成

上田 昌哉 議員  
住民会議で活躍するまちづくりコーディネーターの活用を

―地域課題の解決につながる幅広い活動を支援する―

問 地域が主体的に取り組む事業を支援する「元氣な地域応援交付金」はどのような制度か。

答 地域が住民会議において取り組むことを決めた福祉、地域交流、商工観光、環境など9分野の事業に対し、1地区あたり50万円を上限に対象経費の10割を交付する制度である。

問 住民会議において重要な役割を担うまちづくりコーディネーターは、現在20人が登録されているとのことだが、どのような活動を行っているのか。

答 コーディネーター同士がネットワークを築き、情報を共有しながら専門的な助言を行い、地域や市民活動団体など異なる主体の連携を促進することで、地域課題の解決につながる幅広い活躍ができるよう支援する。

山崎 高晴 議員  
減少傾向にある消防団員数に歯止めをかけるために

―処遇改善を行うなど、団員確保に努める―

問 消防団員数が10年前と比較すると減少しているようだが、現状はどのようになっているのか。

答 処遇改善として退職報償金の引き上げが行われたが、それ以外に、どんな取り組みがされているか。

問 刈谷市消防団条例に定められている定数は435人だが、現在の団員数は375人である。平成16年4月1日の団員数と比較すると43人減少している。

答 夏季活動用のプリントTシャツを各団員3枚ずつ配付しているほか、福利厚生では団員1名につき年間2千円の宿泊施設やスポーツ施設などの利用補助を行っている。また10年以上在籍した団員とその家族1名をサンモリユー下條に無料招待している。

星野 雅春 議員  
次代を担う若い人を応援する仕組みづくりを

―小垣江青年団の活動を見本として青年支援を実施していく―

問 将来、地域の担い手となる青年が力を蓄える場は重要で

あり、その理解者が必要であるとされている。小垣江には、県下唯一の青年学級があるがどのようなものか。

答 生活に必要な職業または家事に関する知識及び技能を習得させ、並びに一般教養を向上させることを目的として、勤労青年15人以上が集まり、学習内容や学習期間を申請することで、市が青年学級を開設するものである。



小垣江青年団活動の様子

問 青年学級の成果は。

答 小垣江青年学級では、キャンプ実習、教養教室など様々なことを学んでいる。また、地域の子どもたちを集めて行うイベントを開催しており、参加した子どもが青年団に加入するなど、次の世代が育っている。

編集後記  
かけはし

最近、日本では集中豪雨や火山噴火などの自然災害が発生し、多くの方が被害に遭われました。お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

◆東日本大震災により被害を受けた福島第一原発の廃炉への道も険しく予断を許さない状況です。1986年に起こったチェルノブイリの原発事故では、事故発生5年後に近隣の子供たちの甲状腺が腫れ始めました。福島の子供たちが安心して生活を送ることができるよう放射能のモニタリングや甲状腺検査をしっかりとって頂きたいです。

◆刈谷市の人口動態を調べると働き盛りの30歳から40歳の人口が減少傾向にあります。それに伴って子供たち特に小学生の人口減少が著しい状況です。刈谷市の住宅地の価格が高く家が買えないという事情が一つの要因としてあります。子供はまちの活力の源です。ファミリー層の定住人口を減らさない施策が必要です。市民の皆様により住みよい住み続けたいと思っていたら刈谷市、市外の方には、住んでみたいと思える刈谷市とするため、市長に政策を提言するなど主体となって取り組んでまいります。

◆刈谷市は歳入では自動車産業の好調に支えられて財政が安定していますが、社会保障費、社会インフラ、老朽化した公共施設の維持費の増大など、今後も継続した歳入が見込まれます。刈谷市議会議員28名は刈谷市の全体を見ながら市長と切磋琢磨することで安定した住みよい刈谷市を目指します。

(議会広報委員会)